

## やすらぎだより

9  
月  
号

陽気で緑にあふれた生活それがやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第147号

## 「ルールはルール」

施設長 植田 誠



車を運転する者誰もが消化しなければならないものが、運転免許更新。誕生日が近づく頃に通知される更新知らせのハガキを開封すると、目に飛び込む違反運転者講習2時間の文字。この数年間に軽微で些細な違反を数度重ねたことは認識していたが、違反は違反、ルールはルールと諦めるしかない。

ここ数回、講習の億劫‘おっくう’さ以上に気を揉むのが視力検査、一応大型免許を取得している私がクリアしなければならないのが「深視力検査」と呼ばれる厄介な検査。三本の線の内、真ん中の一本が前後に動き三本が一行に並んだ時にボタンを押すしろものだが、大型取得35年のベテランの私も老眼と勘の悪さ？が増し年々これが大変だ。

「あきませんね」

口調は優しい試験官も繰り返す度に表情は硬くなってくる。

「少し遅いですな」「チョット早すぎますネ」

裸眼と眼鏡をかけながらさすがに十数度繰り返すと、真剣な私の気合いに負けたのか多少のヒントもくれる。

「はい合格」

最初は‘憎き敵’に思えた試験官も、その一言で‘心優しき味方’に変わる。ルールの範囲内での精一杯の‘融通’に感謝の気持ちが湧いてくる。

昨年卒寿を超えた父が、先日浮かない面持ちで施設に訪れた。

「視力検査で免許の更新ができないんヤ」

誕生日が二日違いのため、運転免許更新の時期も私と同じだ。高齢者の運転対策が法律に反映され免許証返納制度も取り沙汰されている昨今だが、91になる父の意思は固い。

知人の眼科医や眼鏡店にも通い、努力を重ねながら幾度かの再検査の結果、更新手続き期間内に免許更新を果たしたとの本人なりの吉報を数日後に聞く。年齢で区切る制度に対してあくまで個人を貫く姿勢にも、ルールにのっとればこそだと言える。

全てはルールに委ねられ、ルールによって道も定まる。



## 社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| ○特別養護老人ホーム やすらぎ園 | ○ケアハウス やすらぎ        |
| ○在宅サービス事業所       | ○介護予防関連事業          |
| 居宅介護支援事業所        | ○グループホーム むつみあい     |
| 訪問介護事業           | ○低所得高齢者等住まい・生活支援事業 |
| 訪問入浴介護事業         |                    |
| ○短期入所生活介護事業      |                    |
| ○在宅介護支援センター      |                    |
| ○天理市東部地域包括支援センター |                    |